

平成30年度第3回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成30年11月28日（水）
午後3時～

会 場 人材かがやきセンター研修室
（中央生涯学習センター5階）

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について（会長・副会長）・・・資料1

（2）宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について（監事）

（3）平成30年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料2

（4）平成31年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

3 そ の 他

・合同開講式・公開講座について

4 閉 会

宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間
(平成30年9月1日～平成32年8月31日)

平成30年9月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
1	あべ よしこ 阿部 好子	宇都宮大学 企画広報部 企画広報課長
2	えだ そういち 江田 壮一	宇都宮短期大学 事務局長
3	おおやま しんいち 大山 眞一	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ
4	かわしま やすお 川島 育郎	株式会社栃木放送 報道制作局長
5	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務局長
6	こばやし じろう 小林 治郎	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
7	こばり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら コーディネートリーダー
8	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮市民大学講座企画運営選考委員 宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
9	のなか まさとも 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員

(五十音順)

宇都宮市民大学運営協議会運営要領

適用 平成 4 年 5 月 1 日
平成 12 年 7 月 1 日
平成 14 年 9 月 1 日
平成 16 年 4 月 1 日
平成 22 年 4 月 1 日
平成 22 年 9 月 1 日
平成 26 年 9 月 1 日
平成 27 年 4 月 1 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、宇都宮市民大学実施要綱（以下「要綱」という。）第 4 条第 4 項に規定する宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、宇都宮市民大学に関し次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 講座の企画の承認に関する事
- (2) 運営に関する事
- (3) 予算及び決算の承認に関する事
- (4) 市内高等教育機関との共催事業に関する事
- (5) その他必要と認める事項

(組織)

第 3 条 協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから要綱第 4 条第 2 項に規定する学長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生涯学習関係者
- (3) 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

3 協議会は、専門講座の企画運営の選考をさせるため、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会を設置することができる。

4 第 2 項の委員のうち 1 名は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員を兼ねるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長が必要であると認めるときは、協議会の委員以外の者の出席を求めることができる。

5 前項に定める出席を求められた者は、議事の決定に加わることはできない。

(監査)

第7条 協議会に監事2人を置き、会長がこれを指名する。

2 監事は、協議会の会計を監査する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、要綱第4条第5項に規定する事務局（教育委員会事務局生涯学習課）が処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

平成30年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

1 合同開講式・公開講座

(1) 開催日時

平成30年10月25日(木) 午後2時～午後4時

(2) 会場

帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟101大会議室

(3) 参加者数

161名

(4) 合同開講式

ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育員会事務局 教育次長 菊池 康夫
帝京大学 医療技術学部 柔道整復学科長 井原 正博 氏
- ・ 来賓挨拶 宇都宮市生涯学習センター運営審議会 副委員長 竹内 律 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会事務局教育次長より受講者代表2名へ交付

イ 受講者の感想・意見

- ・ 受講する講座が異なっても一堂に会して式を行うことは市民大学生として意義深いものがあったと感じた。
- ・ 合同開講式の必要性が感じられない。形式的である。
- ・ 企画者に今回の専門講座(6テーマ)を決めるに至った検討経過や議論点、こだわり、セールスポイントなどを紹介してもらえるとよいと思う。

ウ 評価

受講者のアンケートでは、6割以上が「とても意義があった」「どちらかといえど意義があった」と評価している。

受講者が一堂に会する唯一の機会であり、帝京大学宇都宮キャンパスとの共催事業として、会場の提供はもとより、今回初めて学内の見学や学食の利用により、受講者満足度の向上に繋がったものと考察される。また、主催者及び来賓の話から学ぶ姿勢や意義を学べたという意見も多数見受けられ、受講者の学習意欲の高揚につながったと考察される。

⇒ 別紙1参照

(5) 公開講座

ア 実施内容

- ・ 講 師 小林 恒之氏
(帝京大学 医療技術学部 柔道整復学科 准教授)
- ・ テ ー マ 心とからだの健康寿命
～豊かな老年期を迎えるために～
- ・ 講義内容 超高齢社会に直面している現代日本。「老年期」を豊かに過ごすためには、不健康な状態を遅らせる「健康寿命を延ばす」ことが重要である。生理学, 脳科学, ポジティブ心理学など複数の分野から, 心身ともに健康であり続ける方法を学ぶ。

イ 受講者の感想・意見

- ・ 非常に面白い話だった。自分自身も前向きに生活しようと思われた。
- ・ 普段勉強しないようなことを聞くことができ、新鮮だった。
- ・ 歳をとることはネガティブな面があるが、老いても感情は消えないとの事、生き方の感情を知った。
- ・ かなり専門的な内容が含まれていたため、資料（簡単なもの）を少し添えてほしかった。
- ・ 質疑応答の時間が用意されていなかったことが非常に残念だった。

ウ 評価

- ・ 受講者アンケートでは、「とても良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が8割以上と、満足度の高い講座であった。
- ・ 年齢を重ねるにつれて、幸福感が上昇する「エイジングパラドックス」が示された。また、ポジティブ心理学の観点から簡単なエクササイズなどが紹介された。
- ・ 受講者がシニア世代中心であることから、特に「老年期」にネガティブなイメージを持っていたようだったが、受講後には「歳をとるのも悪くない」というようなポジティブな感想を持った人が多数見受けられた。
- ・ 講師が様々な分野から解説を行ったため、大変興味深かったという感想や、新たに心理学の著作本に関心を持った受講生がいた反面、専門用語が多く、難しかったという意見も多数あった。

⇒ 別紙1参照

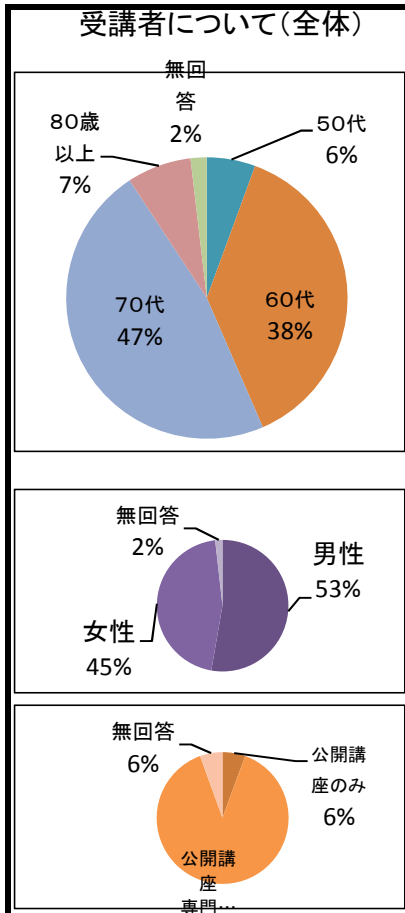
2 専門講座

No.	【講座コース】 講座名 (開講数)	講 師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講決定数
1	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 修験の世界 日光山の歴史と信仰 (全5回)	総本山 甕嶽山(しょうがくさん)観音寺 代表宗家 甕岳(こしきだけ)聖海(しょうかい) 氏 栃木県立博物館 名誉学芸員 千田 孝明 氏	10/29～ 12/3	(70) [104] 84
2	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 大地の公園「ジオパーク」 ～地域の自然構造を知り・自然に学ぶ～ (全7回)	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 総括研究主幹 山元 孝広 氏 栃木県立博物館 自然課主任 河野 重範 氏 那須烏山市教育委員会 文化振興課文化振興グループジオパーク推進室 総括 大鐘 智夫 氏 主任 谷口 寛明 氏 宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン 学科 准教授 清木(せいき) 隆文 氏 宇都宮美術館 主任学芸員 橋本 優子 氏 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク理事長 矢野 正広 氏	11/1～ 12/13	(40) [36] 36
3	【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】 宇都宮市の近現代Ⅱ ～戦後のあゆみ～ (全7回)	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽(おおたけ) 浩良 氏 有限会社 随想舎 編集部 下田 太郎 氏	11/2～ 12/21	(80) [56] 50
4	【今を読み解く現代社会コース】 笑いの健康学 ～いつまでも笑って暮らすために～ (全7回)	NPO法人シニア大樂講師 笑い療法士 北沢 正嗣 氏 医師 松本 光正 氏 薬剤師 川上 千里 氏 笑顔ソムリエ 吉羽 咲貢好 氏 漫談家 若林 一声 氏 健康管理士 藤井 敬三 氏	10/30～ 12/11	(50) [49] 44
5	【今を読み解く現代社会コース】 〔帝京大学連携講座〕 健康寿命を延ばすにはどうする？ ～様々な分野から学ぶ～ (全6回)	帝京大学 医療技術学部 柔道整復学科 教授 宮坂 卓治 氏 助教 剣持 佑起 氏 教授 川井 一廣 氏 講師 阿部 弘之 氏 助教 刈屋(かりや) 遵(じゅん) 氏 帝京豊郷台接骨院 院長 前川 和人 氏	11/1～ 12/13	(40) [53] 53
6	【暮らしを彩る教養コース】 俳句と絵画、ふたつの道の達人「蕪村」 を学ぶ ～「蕪村」号は宇都宮から始まった～ (全7回)	筑波大学大学院 教授 清登 典子 氏 筑西市中村美術サロン 中村 兵左衛門 氏 全国水墨画美術協会・全国俳画普及協会 会長 豊島 宗七 氏 美術家 北川 健次 氏	11/2～ 12/21	(50) [78] 73
合 計			(募集定員) [応募者数] 受講決定数	(330) [376] 340

平成30年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告



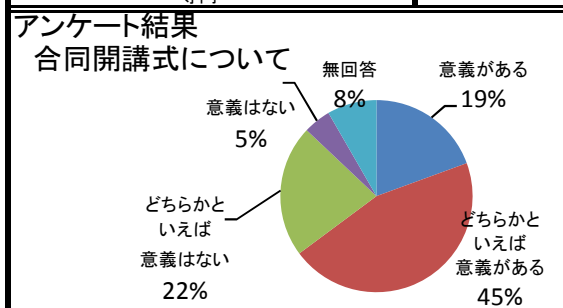
- ◇開催日時:平成30年10月25日(木) 午後2時～午後4時
- ◇開催場所:帝京大学 宇都宮キャンパス
地域経済学科棟101大会議室
- ◇受講者数:161名
- ◇アンケート回収数: 108名(67.08%)
- ◇出席来賓:1名
- ◇出席主催者:12名
- ◇運営スタッフ:11名



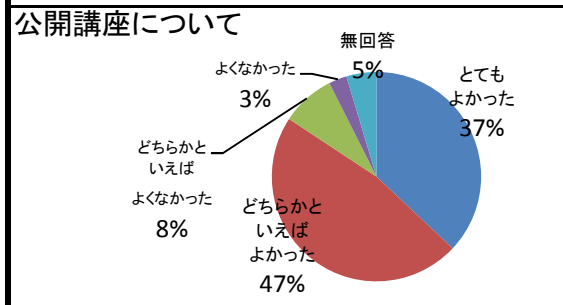
区分	人数	割合
1 20歳未満	0	0%
2 20代	0	0%
3 30代	0	0%
4 40代	0	0%
5 50代	6	6%
6 60代	41	38%
7 70代	51	47%
8 80歳以上	8	7%
無回答	2	2%
合計	108	100%

区分	人数	割合
1 男性	57	53%
2 女性	49	45%
無回答	2	2%
合計	108	100%

区分	人数	割合
1 公開講座のみ受講	6	6%
2 公開講座と専門講座を受講	96	89%
無回答	6	6%
合計	108	100%



区分	人数	割合
1 とても意義がありよかった	21	19%
2 どちらかといえば意義があった	49	45%
3 どちらかといえば意義があるとはいえない	24	22%
4 意義があるとはいえない	5	5%
無回答	9	8%
合計	108	100%



区分	人数	割合
1 とてもよかった	40	37%
2 どちらかといえばよかった	51	47%
3 どちらかといえばよくなかった	9	8%
4 よくなかった	3	3%
無回答	5	5%
合計	108	100%

平成 31 年度宇都宮市民大学 V スタッフ企画講座の決定について

1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成 30 年 11 月 6 日 (火)
 (2) 場 所 人材かがやきセンター研修室
 (3) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査
 (4) 選考数 9 講座 (3 コース)

【参考】

コース	内 容
I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
II 今を読み解く 現代社会コース	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座
III 暮らしを彩る 教養コース	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

2 選考結果

コース別選定状況は別紙「平成 30 年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表」のとおり。

※ 講座のバランス等を総合的に考慮し、I コースの 1 企画を前期実施から後期実施へ、III コースの 1 企画を前期実施から後期期実施に調整する。

※ II コースが前期 1 企画になったことから、大学連携によるや事務局企画において積極的に企画を行う。

平成30年度宇都宮市民大学講座企画選考委員会選考結果一覧表

(平成31年度実施 講座企画・運営ボランティアスタッフ企画運営専門講座 9講座)

コース	コース 順位	講座名	ねらい	時期	企画者	得点	全体順位	委員コメント
I 郷土を愛する 地域・文化・歴	1	近代を切り開いた栃木の女性たち ～女性であるからこそできたこと、女性だから 見えたもの～	栃木県にゆかりのある5人の女性の活動やその歴史的背景を学ぶとともに、彼女たちが芸術文化、教育、社会等に与えた影響についても学び、現代の男女共同参画社会への足がかりとなった功績、意義を理解することをねらいとする。	前期★	宙(そら)	159	2	・社会性の高いテーマであり、女性活躍が求められる時代にふさわしい。 ・時代的背景も盛り込み、女性たちが生きた時代のまとめの回があると良い。
	2	宇都宮の明治維新 ～戊辰戦争でどう変わったのか～	戊辰戦争という大きな流れの中で、宇都宮の人々がどう関わったのか、宇都宮における戦いがどのような役割をもっていたのかを探るとともに、戦争の中で生まれた新政府の役割や明治社会のスタートを学ぶことをねらいとする。	前期★	ともしび	143	4	・城址公園がマスコミに取り上げられ、興味・関心は高い。タイムリーな講座。 ・宇都宮にとっても幕末・維新は重要な時期である。
	3	国際的文化人・円仁をはぐくんだ”しもつけ” の風土を考える	国際的文化人・慈覚大師円仁をはぐくんだ「しもつけ」の古代史を多角的な視点から学ぶことで、円仁の偉大な業績について理解をさらに深め、郷土に対する誇りを再認識することをねらいとする。	前期★	ともしび	137	6	・受講生のニーズはある。受講生の知りたいこと、学びたいことを捉えながら、企画者の着目点を生かせる講座になると良い。 ・円仁を取り上げるのは2回目なので、講座の組み方が難しい。
	4	地名と苗字の今昔話し ～人生100年旅のお手伝い～	古代から現代まで、時の反映で消え去った地名、新たに生まれた地名など、それらの経緯を学び、平易に解き明かすことを通して、郷土の歴史や特徴、文化を見直すことをねらいとする。	後期	中八連	104	17	・地名や苗字の成り立ちなどを知ることができ、地域を再認識できる。 ・市民にとって興味ある内容と思うが、講座展開が難しい。
II 今を読み解く 現代社会	1	気候で読み解く日本の歴史 ～異常気象との攻防1400年～	日本の気候変動や異常気象の歴史を俯瞰し、各時代における災害対策などについて学び、日常生活における防災に対する考え方を見つめ直し、自然災害から命を守るきっかけづくりとすることをねらいとする。	後期	宇賀神光夫	133	9	・今の時代、予想外の気象にスポットを当てたのはタイムリーである。 ・異常気象という言葉にも慣らされた感じがする。日本の歴史とどう繋げるかに期待したい。
	2	地盤・地形から宇都宮の災害を考える ～あなたの住んでいる地盤は大丈夫ですか～	近年、多くの自然災害が発生している中、自分の住んでいるふるさとの地形が、どんな成り立ちであるのかについて専門的に学び、最終的には我が家のハザードマップづくりへと発展することをねらいとする。	前期★	ともしび	130	12	・自分が住む所は大丈夫と考える人は意外と多い。どのように意識を高める講座となるのか期待したい。 ・ハザードマップ作成に繋げるには、現在の防災関係の講義がもう少し必要。
	3	まだ知られていないとちぎ温泉郷の魅力 ～県内17地区ある温泉郷の悩みと解決のヒントとは～	栃木県の17地区にも及ぶ温泉地帯の魅力について、観光、まちづくりなど多様な視点から学ぶことで、温泉の魅力を確認することをねらいとする。	前期★	宙(そら)	123	14	・全国的にみても栃木は温泉が豊富。外国人の集客に繋がる企画を期待したい。 ・温泉の魅力の再認識には繋がるが、発展性が見込めない。
III 暮らしを彩る 教養	1	近世都市「江戸」の歴史 ～東京の礎となった江戸の歴史を知る～	現在の大都市「東京」の礎となった江戸の町が、いかに形づくられ、そこに集まった町人たちがどのような生活をしてきたかを学び、近世都市「江戸」について理解を深め、現代の大都市「東京」について考えることをねらいとする。	後期	グループ縁	163	1	・間近に迫った東京五輪に掛けた点は、タイムリー感がある。 ・「まち」の成り立ちの視点で、東京(江戸)を考えるおもしろい講座であると思う。宇都宮とのつながりも取り入れられ、期待がもてる。
	2	三国志の世界 ～英雄たちの群像～	歴史書「三国志」と小説「三国志演義」の内容を比較しながら、「三説」と称される曹操・関羽・諸葛亮の三人を取り上げ、その人物像を掘り下げていき、三国時代の特徴や三人の事跡とその魅力を学ぶことをねらいとする。	前期	大山真一	157	3	・土曜日の開催は意欲的である。ビジネスマン・若者を意識した点が評価できる。 ・学びの視点が明確である。東京国立博物館の特別展も視野に入れながら歴史を学ぶ講座は興味深い。
	3	江戸の科学力!! ～世界最高の自然科学は江戸時代に始まった～	江戸時代の科学は、庶民の「芸」として生活の中に浸透していたことや、日常生活に役立てる「実学」として発展した学問であることを学び、江戸時代の科学や技術の素晴らしさを認識することをねらいとする。	前期★	みやの塾	139	5	・技術国日本であるが、その原点となった事案について学ぶことは意義がある。 ・関心が分かれるところ。オムニバスなので、広く浅くの内容になってしまう心配がある。
	4	明治4年 海を渡った5名の大和撫子 ～岩倉具視 欧米使節団と渡米した淑女たち～	明治4年、渡米した幼い5名の少女たちが、異国の地でどのような生活をして、どのように勉学にいそしんだかを学び、帰国後、女子教育にまい進する5名の淑女たちの力強い人物像に迫ることをねらいとする。	後期★	宙(そら)	136	7	・明治時代の女性にスポットを当てたのは興味深い。 ・どのように男性受講者を増やすかが課題。この講座によるねらいや効果について、もう少し明確なものがほしい。
	4	歴史を美貌で振り回した女性たち! ～犠牲と信念の北条政子・守銭奴と云われても日野富子・今この時をお市の方と三人の娘達～	鎌倉時代・室町時代・安土桃山時代の男社会の歴史の中で、時代に翻弄されながらも、たくましく、もがき、苦しみながら、それぞれの価値観と信念で時代を乗り越えた女性たちの生き様を学ぶことをねらいとする。	前期★	宙(そら)	136	7	・よく聞く女性たちであるが、その生き方をどのように市民のニーズにつなげていくか期待したい。 ・教養を深めるのに寄与し、男性受講者も見込めると考える。
	6	南極大陸 ～知られざる世界の魅力～	南極の成り立ちから現況、動物の生態、自然現象等を学ぶとともに、南極観測による数々の発見や地球システムの仕組みの解明について学び、人間の尺度を超えた環境と人間の力が及ばない世界を認識することをねらいとする。	前期	中八連	132	10	・未知の世界の南極を学ぶ意義と、ニーズの満足度を上げる工夫を期待したい。 ・館外学習の目的が明確ではない。必要性はあるのだろうか。
	7	司馬遼太郎「小説の世界」を考える ～坂本龍馬、土方歳三、坂の上の雲～	司馬遼太郎の小説の世界を中心に、「竜馬がゆく」の坂本龍馬、「燃えよ陰」の土方歳三、「坂の上の雲」の秋山兄弟と正岡子規などを題材に、その主人公への司馬さんのアプローチや作品の現代性について学ぶことをねらいとする。	前期	宇賀神光夫	131	11	・興味ある人物で、よく知られている。それだけに、どのように工夫して満足度を上げるかが難しいと思う。 ・フィクションから何を得るのか。教養となるのか。
	8	鎌倉文学の最高峰『徒然草』 ～吉田兼好の珠玉の随筆に魅せられませんか～	後悔せずに生きるには毎日をどう過ごせばよいかを「思索する」吉田兼好による、自由な心で書きつづった珠玉の随筆『徒然草』をひもとき、吉田兼好の語彙力や表現力の豊かさを感じることをねらいとする。	後期★	みやの塾	126	13	・教養とし学び、満足度を高め、どのように活用することをねらっているのか。 ・解釈に終始するようになった。現代人の生活と結びつける工夫があるとよいと思う。
	9	シニアの体験的異文化コミュニケーション ～世界の現実に触れる～	世界の人々の暮らしや風習、異文化を学ぶことで、シニアでなければできないおもてなしをする、その第一歩を踏み出すきっかけづくり、勇気づけ、生きがいづくりになることをねらいとする。	後期★	ともしび	120	15	・異文化コミュニケーションの大切さはわかるが、構成が漠然としすぎている感じがする。 ・タイトルに「シニア」を入れる合理的理由が不明。
	10	日本版ピラミッド古墳への旅 ～古代人のタイムカプセルから～	古墳時代は、大陸からいろいろな技術が入り込み、日本人が大いに変化した時代であり、古墳から出土する遺物が教えてくれる、古代の人々の未来観や世界観等について学ぶことをねらいとする。	後期	みやの塾	119	16	・関心をもつ人は多いと思うが、勉強する範囲が広いので、絞り込みが必要か。 ・古墳を知る点でよい企画である。宇都宮の古墳にスポットをもう少し当てていただきたい。

※応募企画数:前期6講座、後期5講座(館外学習実施講座4講座)

「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている

宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間
(平成30年9月1日～平成32年8月31日)

平成30年9月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
○ 1	小太刀 忠治	宇都宮共和大学 事務局長
2	佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役業務推進本部長
◎ 3	島田 繁雄	宇都宮市民大学運営協議会委員 宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長
4	高田 玄	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 ふれあい学習課長
5	町田 明久	株式会社 とちぎテレビ 役員待遇放送本部長
6	丸山 純一	文星芸術大学 美術学部 教授
7	山田 卓徳	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
8	増渕 重子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長
9	鷺谷 文子	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長
10	毛塚 正子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 人材かがやきセンター 地域教育指導員

(No1～7：五十音順)

◎ 委員長 ○ 副委員長